

# Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. MNB959  
 取付・取扱説明書

**AutoExe**  
 A New Driving Sensation  
 株式会社オートエクゼ  
 〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-1  
 TEL 03-3531-8151 FAX 03-3531-8152

この度は、オートエクゼ ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願い致します。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種：ロードスター（NB6/8）全車

## 警告

- 一般公道等、歩行者や他の交通の妨げになる場所では作業しないで下さい。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でサイドブレーキ等をかけて確実に停車させて下さい。また、エンジンキーを抜きエンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業を行う場合は作業に適した服装で、必要に応じて保護手袋、保護眼鏡等を使用して下さい。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。

正しいモータースポーツと暴走行為とは全く異質のものです。本製品を御利用頂く皆様に充分なる御理解と法規則にのっとった正しい使用をされる事をお願い申し上げます。

## 純正エアクリーナーボックスの取外し

1: エアフローセンサーのカプラーを外し、吸気温センサーを抜取ります。  
 (ケースに付いている吸気温センサーグローメットは装着時に使用しますのでケースから外します。)

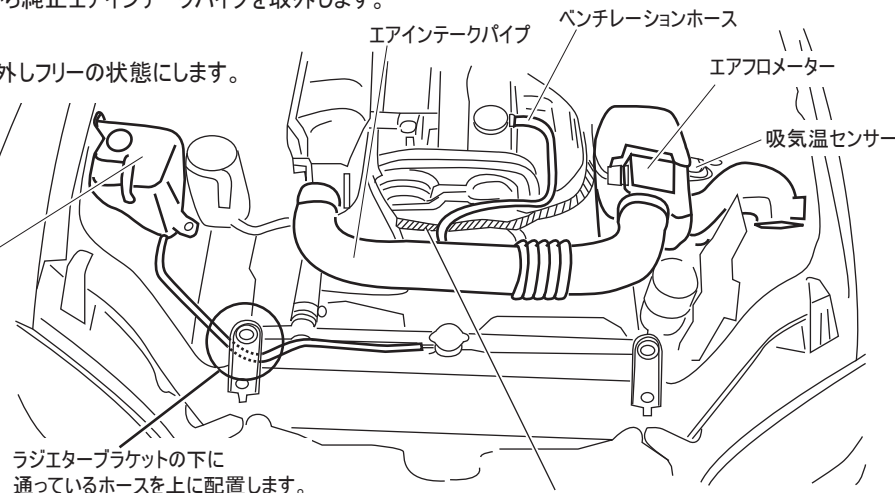
2: 車両から純正エアクリーナーASSYをエアフローセンサーごと取外します。  
 純正エアクリーナーASSYからエアフロメーターを取外します。

3: ベンチレーションホースを取外し、車両から純正エアインテークパイプを取外します。

4: ラジエーターリザーバータンク固定ボルトを外しフリーの状態にします。

5: 右図配線斜線部のテープを剥ぎ、エアフローセンサーと吸気温センサーの配線をほどきます。

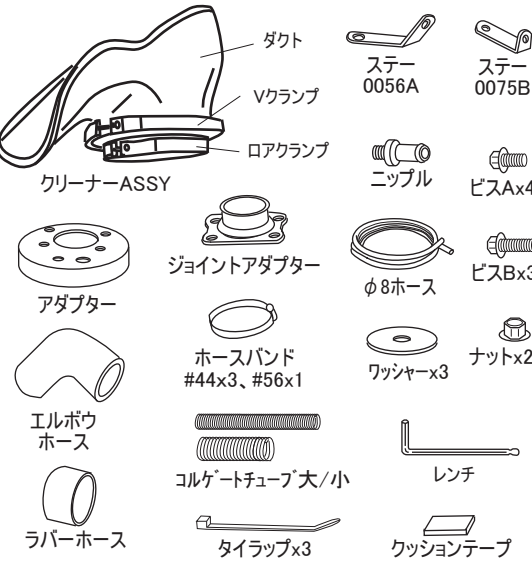
リザーバータンク



ラジエーターブラケットの下に通っているホースを上配置します。

配線テープをほどきます。

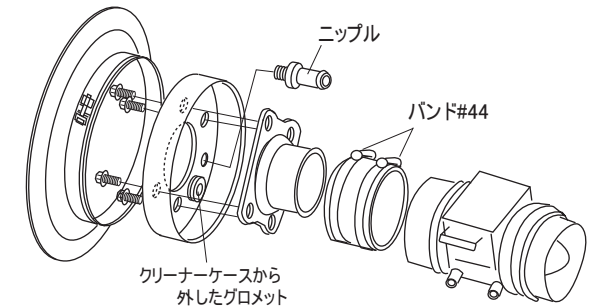
## PARTS LIST



## ラムエアインテークシステムの取付け

注)各作業は仮止めで行い、位置が決まってから増締めを行った方が容易です。

1: 下図の参考に、エアフローセンサーにアダプターとジョイントアダプター、ニップル、ラバーホースを組付けます。(ピスA使用)



2: ラジエーターリザーバータンクを助手席側に移設します。  
 下図を参照し、ステー0056A、0075Bで固定します。  
 固定の際、タンク側にワッシャーを挟みます。

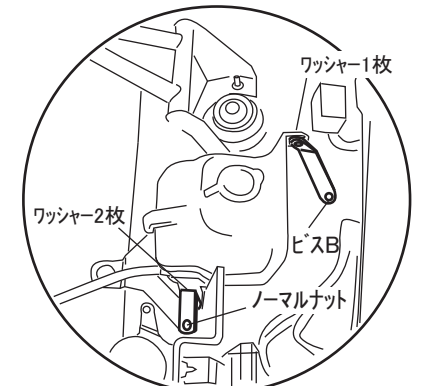
3: 「1」で組立てたアダプターにクリーナーASSYを仮組みします。エアフロセンサー側にエルボウホースを取付けスロットル部に取付けます。

4: Vクランプ部がボンネットから遠ざかるように上から押さえつけながら各部バンドを締めます。干渉する場合はアダプターを回転させ、クリアランスを調整して下さい。最後にロアクランプを締込んで固定します。

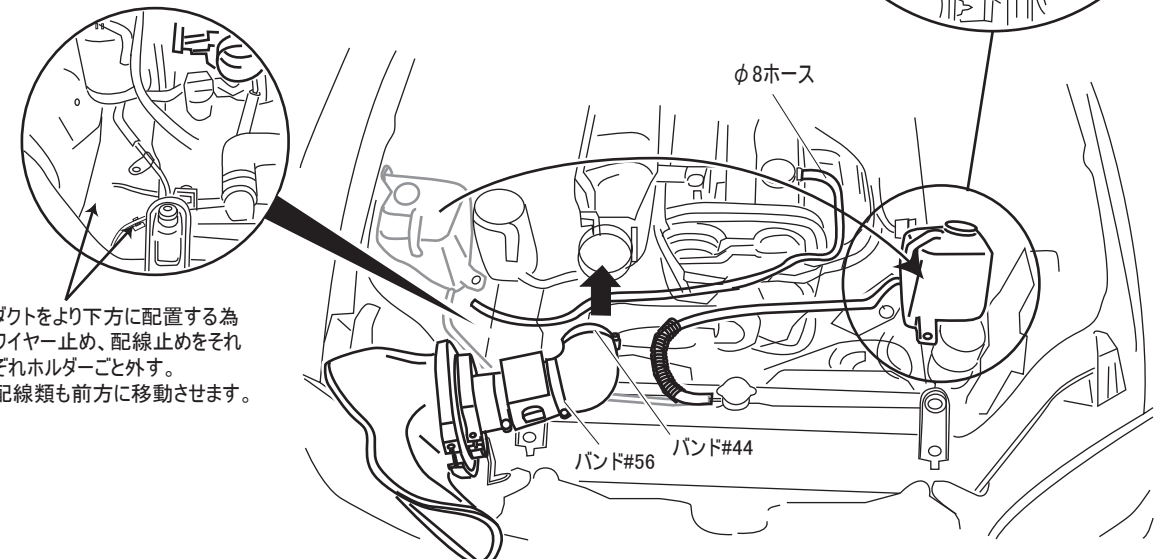
※ピス類を取り付けの際はロック剤の塗付をお勧めします。また、定期的な増し締め点検を行って下さい。

特にVクランプ上部とボンネット、キャニスタータンク付近は干渉する恐れがあるので保護用のクッションテープを貼付けて下さい。

5: ブローバイホースを付属φ8ホースに差替え、アダプターのニップルに差し込みます。  
 同時に吸気温センサーもアダプターのグローメット部に差し込みます。



6: 解いた配線をコルゲートチューブで束ねます。またラジエーターリザーバーホースの曲がりの急な所にも折れ防止の為コルゲートチューブを被せて下さい。配管類をタイラップでまとめます。



ダクトをより下方に配置する為ワイヤー止め、配線止めをそれぞれホルダーごと外す。配線類も前方に移動させます。

※ダクトは目一杯下に押し込むようにしてバンド固定して下さい。